



# 県内経済情勢

## (令和4年10月判断)

令和4年11月1日

財務省関東財務局  
千葉財務事務所


照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL 043-251-7213)

ホームページ <https://lfb.mof.go.jp/kantou/chiba/>

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」









項目	前回（4年7月判断）	今回（4年10月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

（注）4年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（4年7月判断）	今回（4年10月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	足踏みの状況にある	持ち直している	
雇用情勢	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
設備投資	4年度は増加見込みとなっている	4年度は増加見込みとなっている	
企業収益	4年度は増益見込みとなっている	4年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	

#### 【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

家電販売額及びホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店及びスーパー販売額などは前年を上回っている。乗用車の新車登録届出数は前年を上回っている。飲食サービス、娯楽などは持ち直している。このように、個人消費は、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 9月は感染者数の落ち着きにより客数が増加したほか、月後半には気温が低下したため、秋物の売れ行きが良かった。10月に入っても販促イベントの開催などにより好調を維持している。(百貨店・スーパー、中小企業)
- 行動制限の緩和の影響により衣料品に動きが出ているほか、消費者の節約志向に対応するため、食料品をはじめとする生活必需品の販売価格を抑制していることもあり、7～9月の売上は堅調に推移している。(百貨店・スーパー、大企業)
- キャンプ・レジャー関連が引き続き好調であるものの、前年のオリンピック需要の反動でテレビや録画機器が不振となったほか、台風の影響で週末の悪天候が続いたため、園芸が伸び悩んでいる。(ホームセンター、大企業)
- 8月まで12ヶ月連続で販売台数が前年同月を下回ってきたが、半導体不足の影響が緩和されつつあることから、9月に入り前年同月を上回るなど、ここにきて回復の兆しがみられる。(自動車販売、中小企業)
- 感染者数がピークアウトしたことで、来店客数が増加し売上は回復に転じている。仕入価格上昇を受け価格改定を行ったものの、同業他社も同様に行っているせいか、今のところ客足に変化はみられない。(飲食サービス、中堅企業)
- 行動制限の緩和以降、来場者数は増加傾向。夏休みや秋の3連休も好調であるなど、足下の景況感が良い。(娯楽、大企業)

### ■ 生産活動 「持ち直している」

生産を業種別にみると、鉄鋼などが減少しているものの、化学、生産用機械、金属製品などが増加しており、全体として持ち直している。

- 部品供給制約による自動車生産の減産の影響から受注・生産量とも前年を下回っているほか、急激な円安進行や鉄鉱石・石炭など原材料価格の高騰により事業環境は悪化している。(鉄鋼、大企業)
- 顧客企業の経済活動の活発化により、7～9月期の生産量は前年を上回っており、特に半導体関連向けやバイオ医薬品関連向けの伸びが大きい。(化学、大企業)
- マンションや商業ビルなどの建築設備向けの生産量が落ち着きつつあるものの、半導体製造設備向けは引き続き好調を維持している。(金属製品、大企業)
- 感染者数の減少や行動制限の緩和などにより燃料油の需要は増加傾向にあり、それに伴い生産量は前年を上回って推移している。(石油・石炭、大企業)

### ■ 雇用情勢 「持ち直しつつある」

有効求人倍率は横ばいとなっている。新規求人数は減少している。雇用保険受給者実人員は前年を下回っている。

- 正社員は毎年採用しているものの、技術者の育成には一定期間を要するため、技術伝承や技術力習得の観点でみると中長期的に人手不足が続いている。(製造業、大企業)
- 正規従業員の賃金アップを実施したほか、非正規従業員においても地域採用事情に応じて時給を引き上げるなど、外食業界で人材確保を行うには物価上昇を上回るベア・時給アップが不可欠となっている。(飲食サービス、中堅企業)
- 電気代等のコストが上昇していることから、利益を確保するには人件費を圧縮せざるを得ない。そのため、正社員の比率を下げ、パートタイマーの比率を上げている。(小売業、中堅企業)

### ■ 設備投資 「4年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」4年7～9月期

- 製造業では前年比増減率14.2%の減少見込み、非製造業では同20.2%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同17.6%の増加見込みとなっている。

### ■ 企業収益 「4年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」4年7～9月期

- 製造業では前年比増減率37.3%の減益見込み、非製造業では同78.1%の増益見込みとなっており、全規模では同44.2%の増益見込みとなっている。

### ■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」4年7～9月期

- 先行きについては、10～12月期に均衡となる見通しとなっている。

### ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を下回っているものの、貸家、分譲住宅は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

### ■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 公共工事請負金額をみると、前年を上回っている。

# 県内経済情勢 (令和4年10月判断)

## (資料)

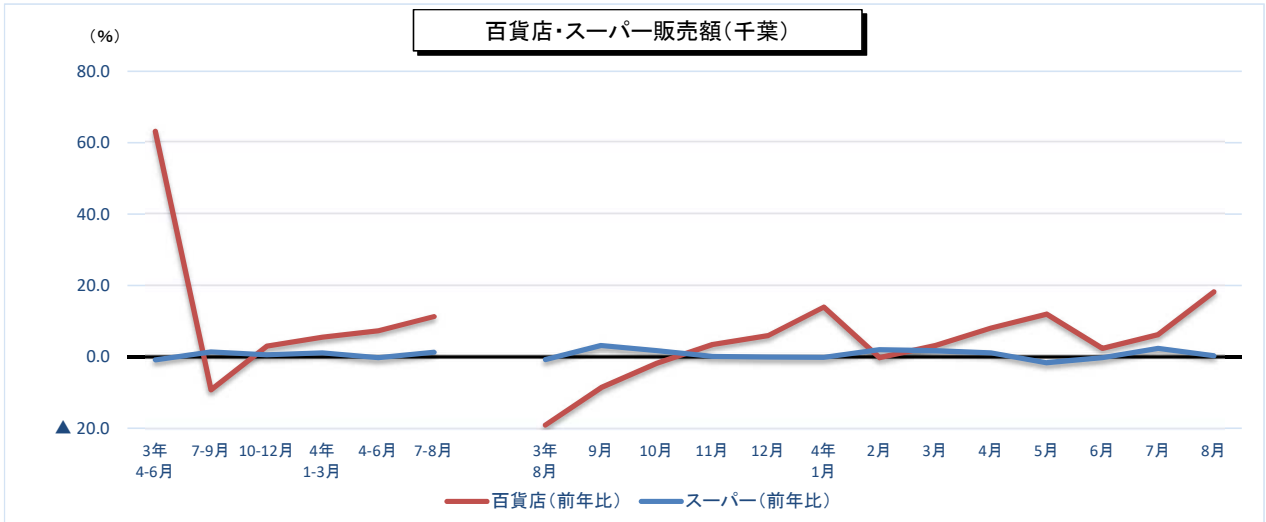
目次	(頁)
1 . 個人消費 . . . . .	1
2 . 生産活動 . . . . .	2
3 . 雇用情勢 . . . . .	3
4 . 設備投資 . . . . .	4
5 . 企業収益 . . . . .	4
6 . 企業の景況感 . . . . .	4
7 . 住宅建設 . . . . .	5
8 . 公共事業 . . . . .	5

令和4年11月1日

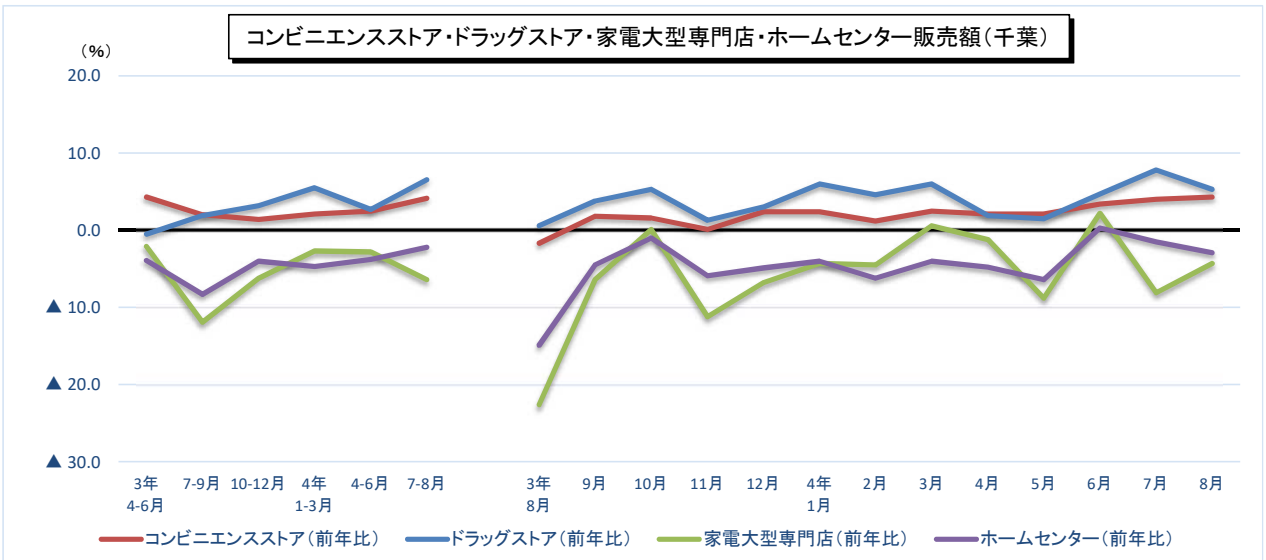
財務省関東財務局  
千葉財務事務所

1. 個人消費

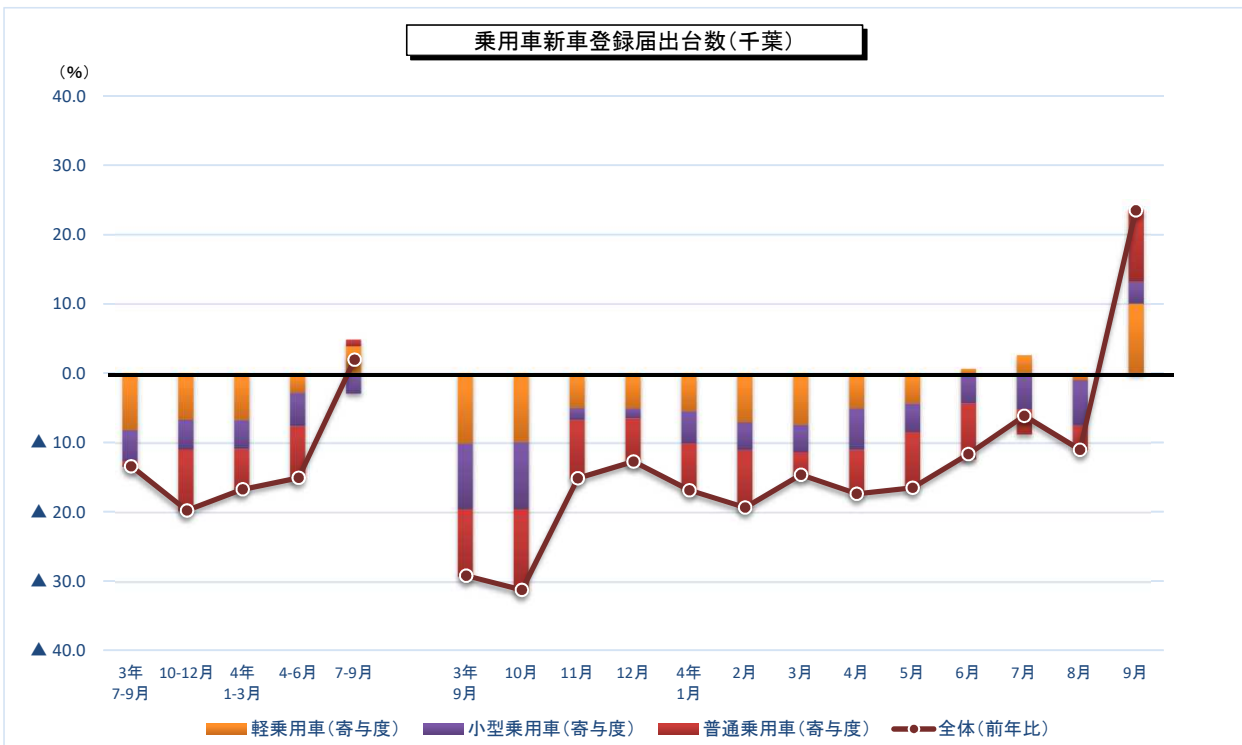
緩やかに持ち直している



[経済産業省]



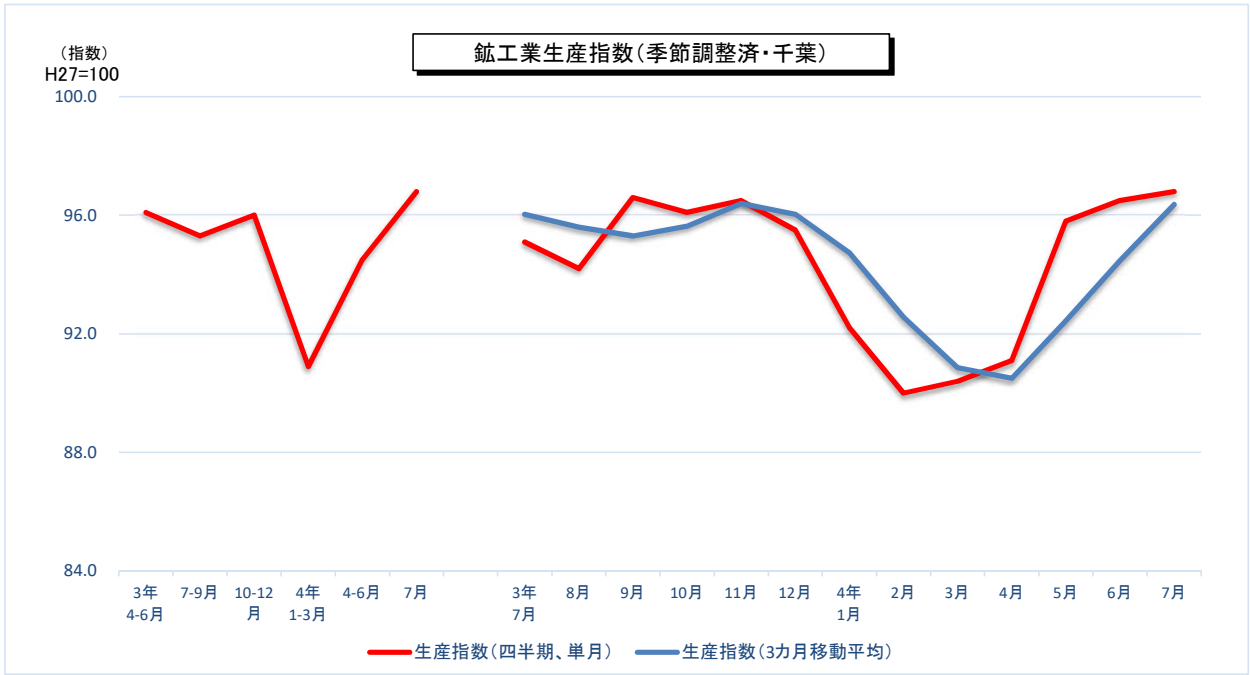
[経済産業省]



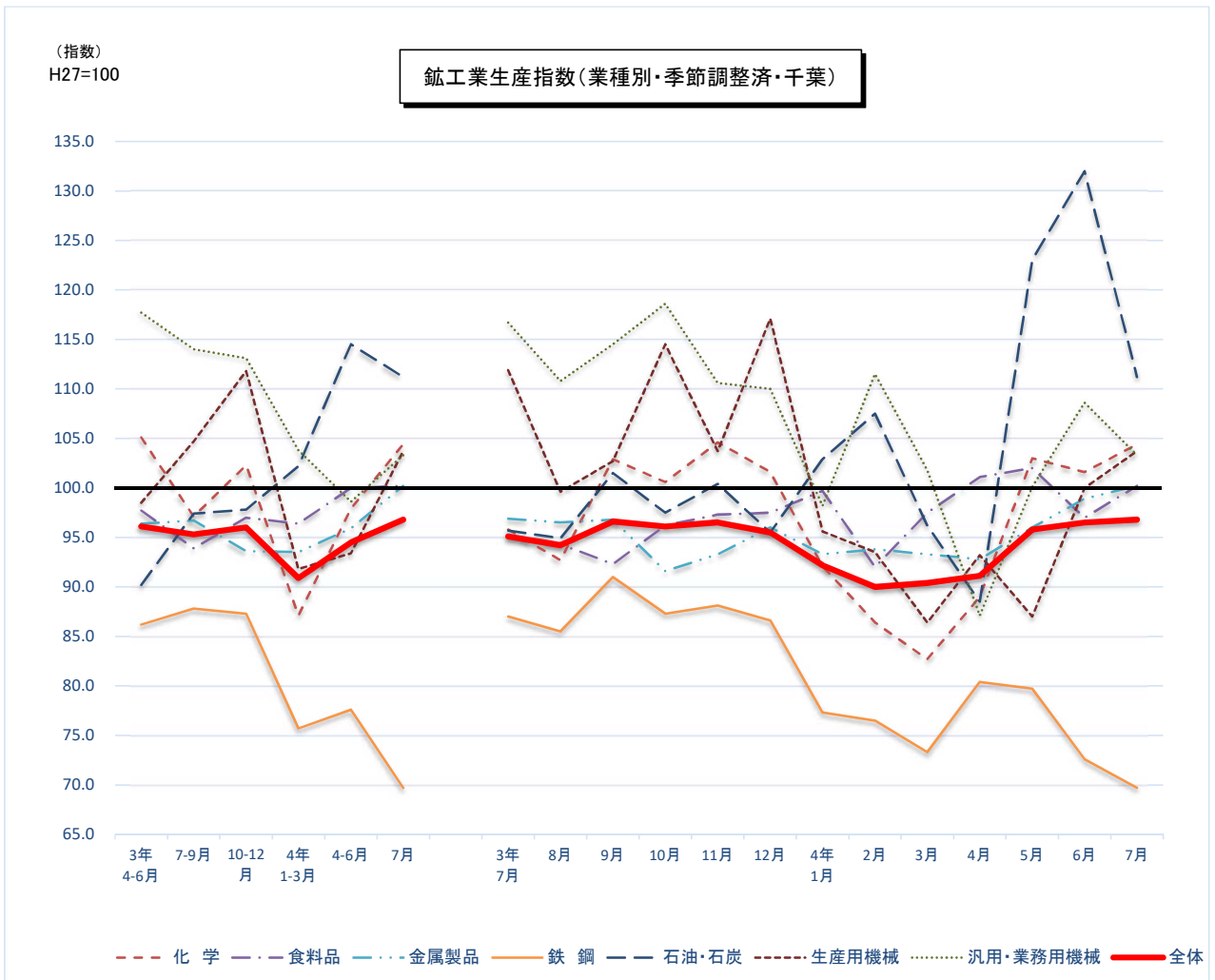
[日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会]

2. 生産活動

持ち直している



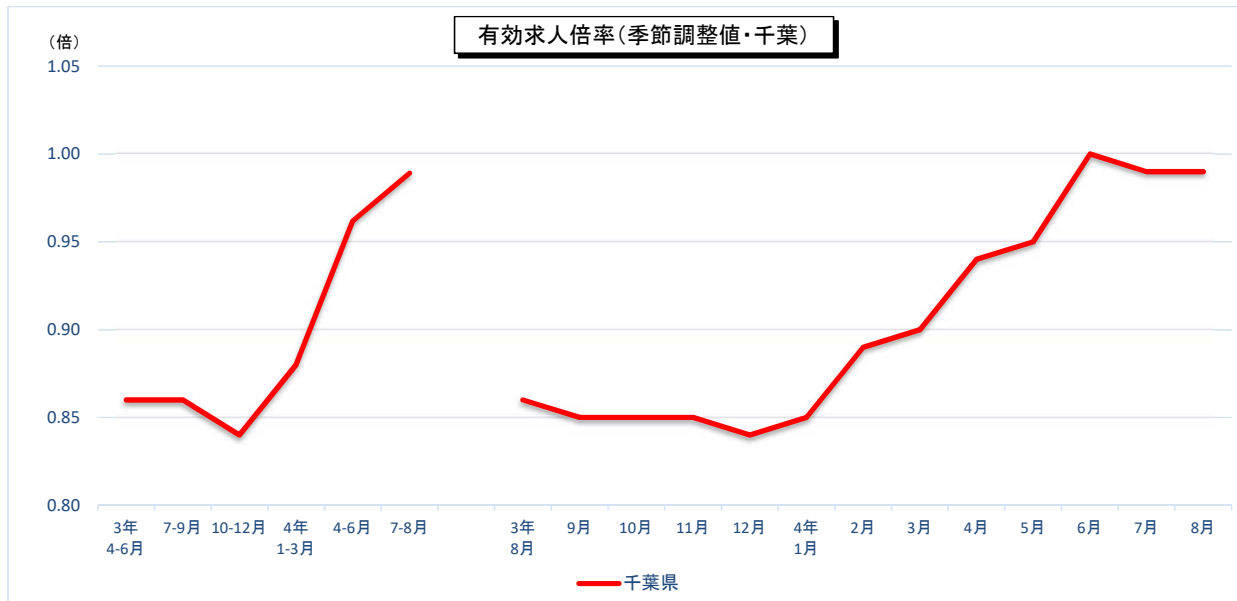
[千葉県]



[千葉県]

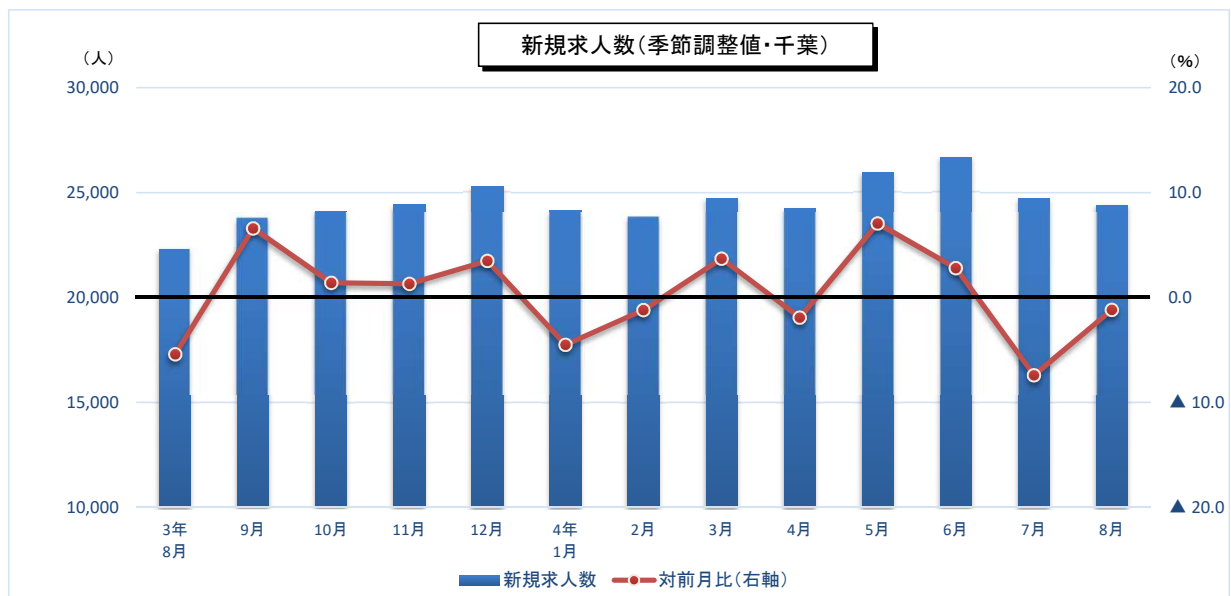
### 3. 雇用情勢

持ち直しつつある

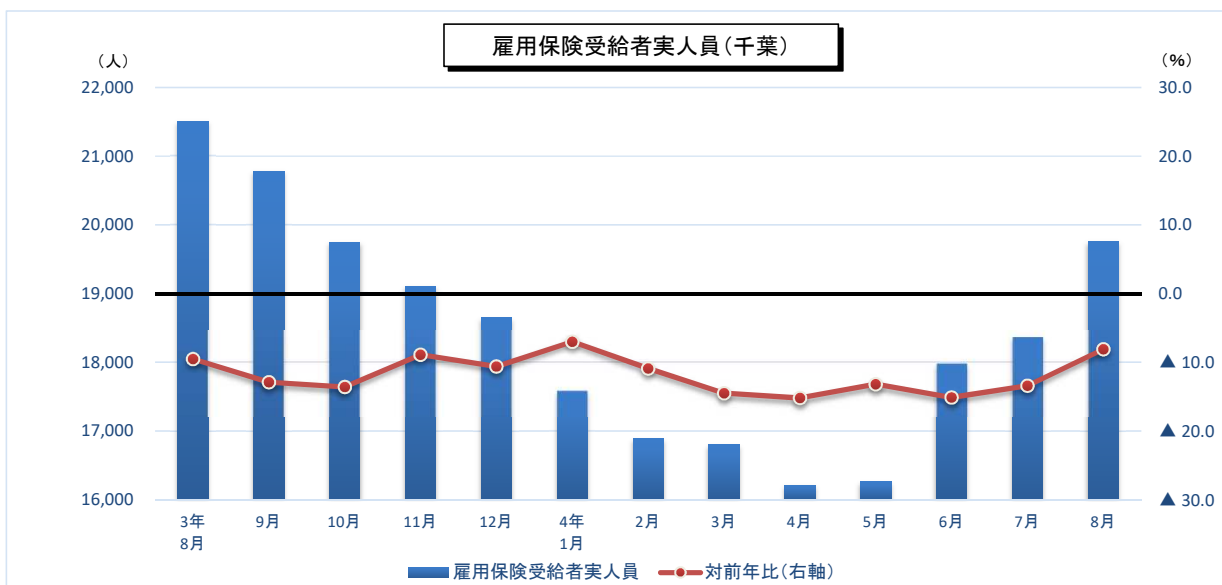


(注)四半期は期中平均である。

[千葉労働局]



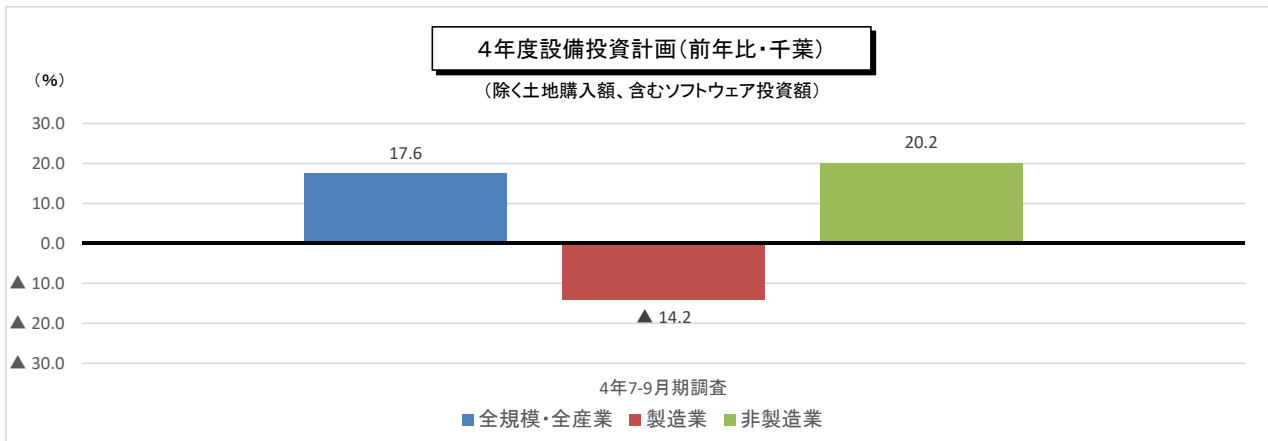
[千葉労働局]



[千葉労働局]

#### 4. 設備投資

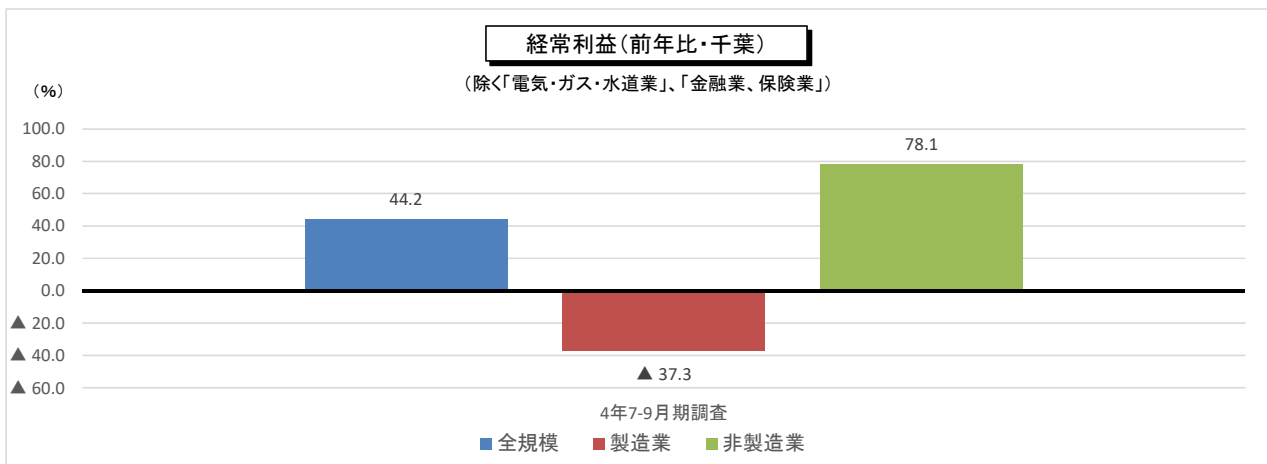
4年度は増加見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

#### 5. 企業収益

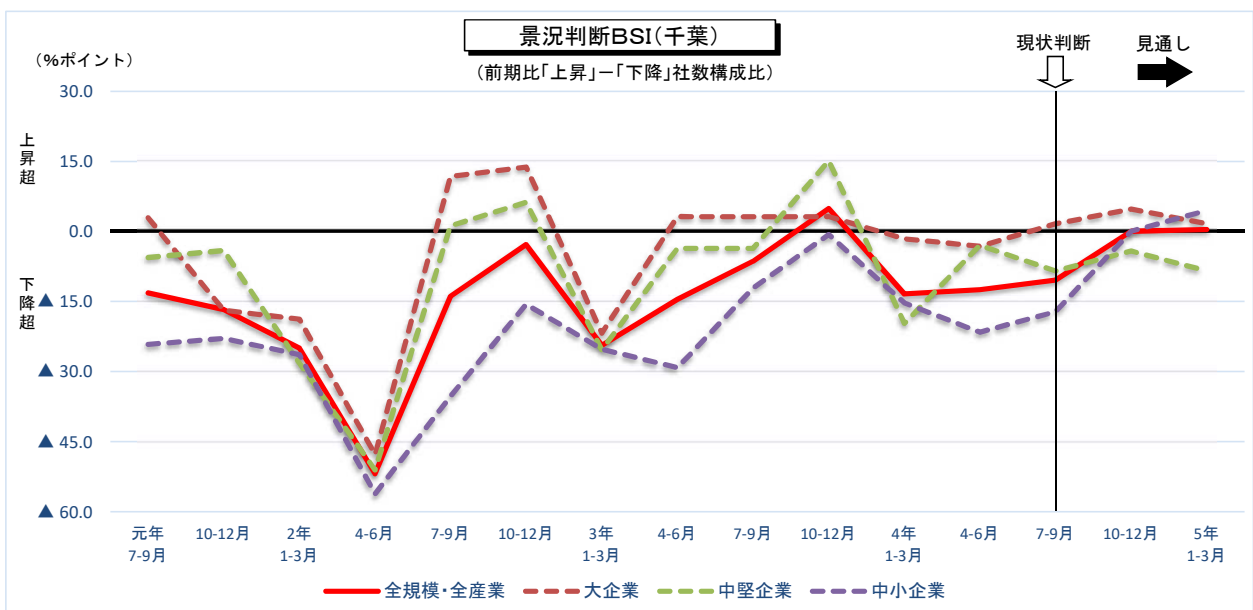
4年度は増益見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

#### 6. 企業の景況感

「下降」超となっている

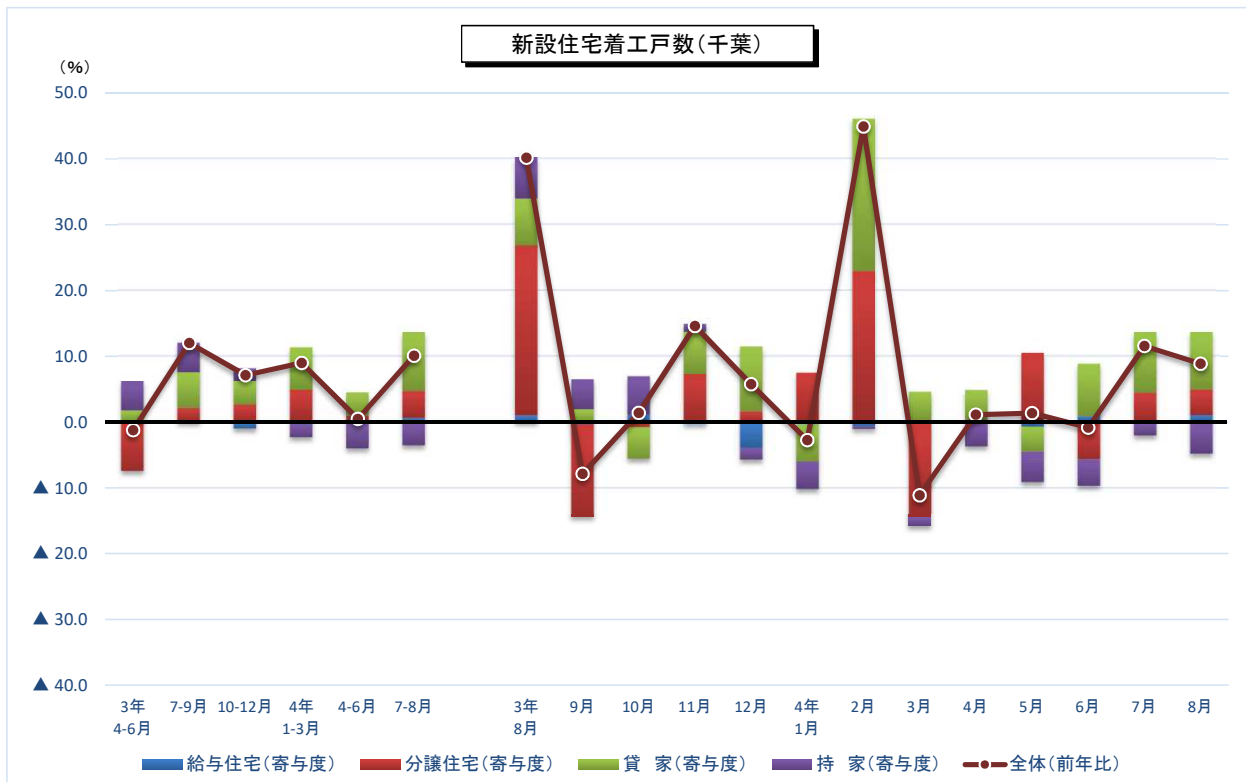


[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]



## 7. 住宅建設

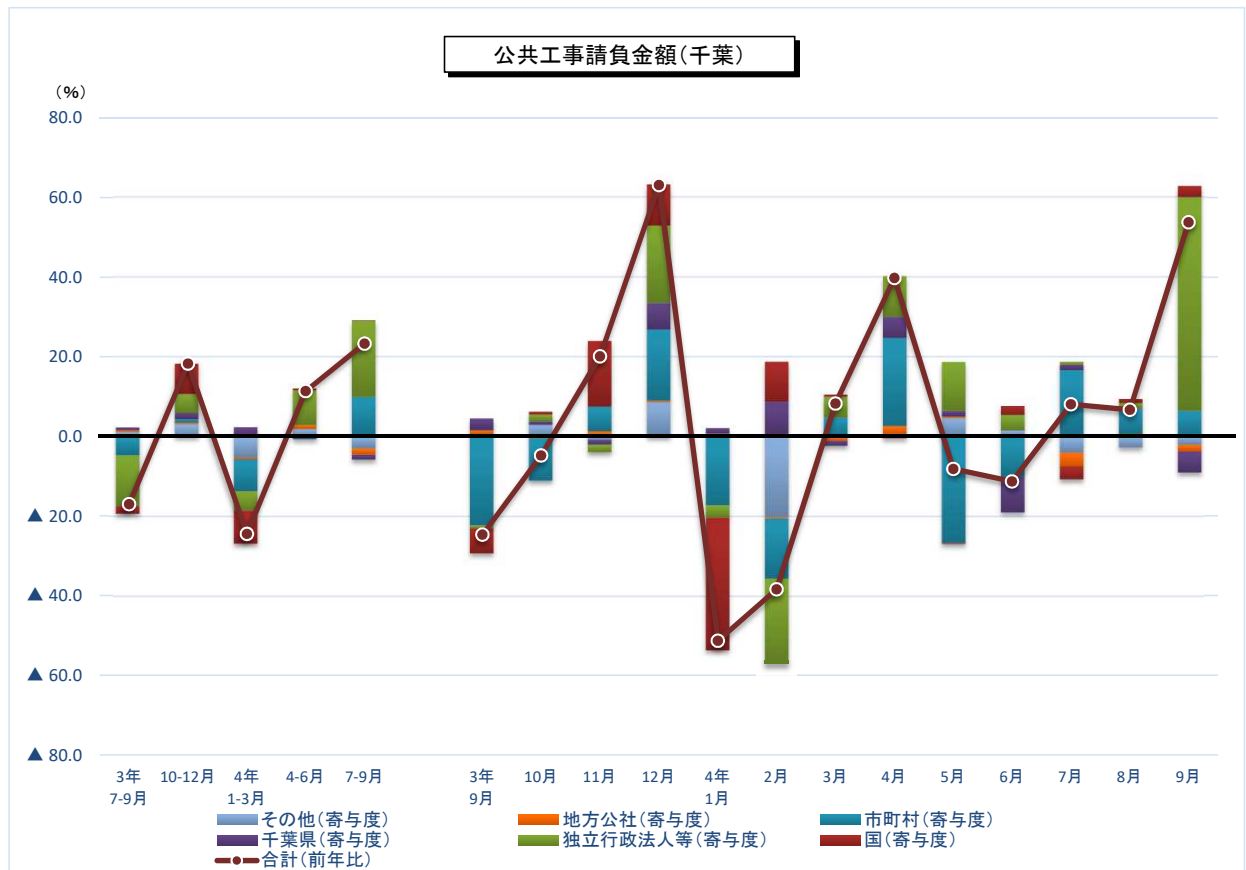
前年を上回っている



[国土交通省]

## 8. 公共事業

前年を上回っている



[東日本建設業保証株式会社]